

人と森が仲良くなつて、すてきな未来につながつてゆく。

mamori

ま も り

Autumn 2007 [vol.001]

割引クーポン付き
家族で楽しめる山の施設

親子で歩こう! 緑の遊び場

木のある暮らし

Event Newsは風に乗って

緑の中のシエスタ

豪華読者プレゼント
森からの贈り物

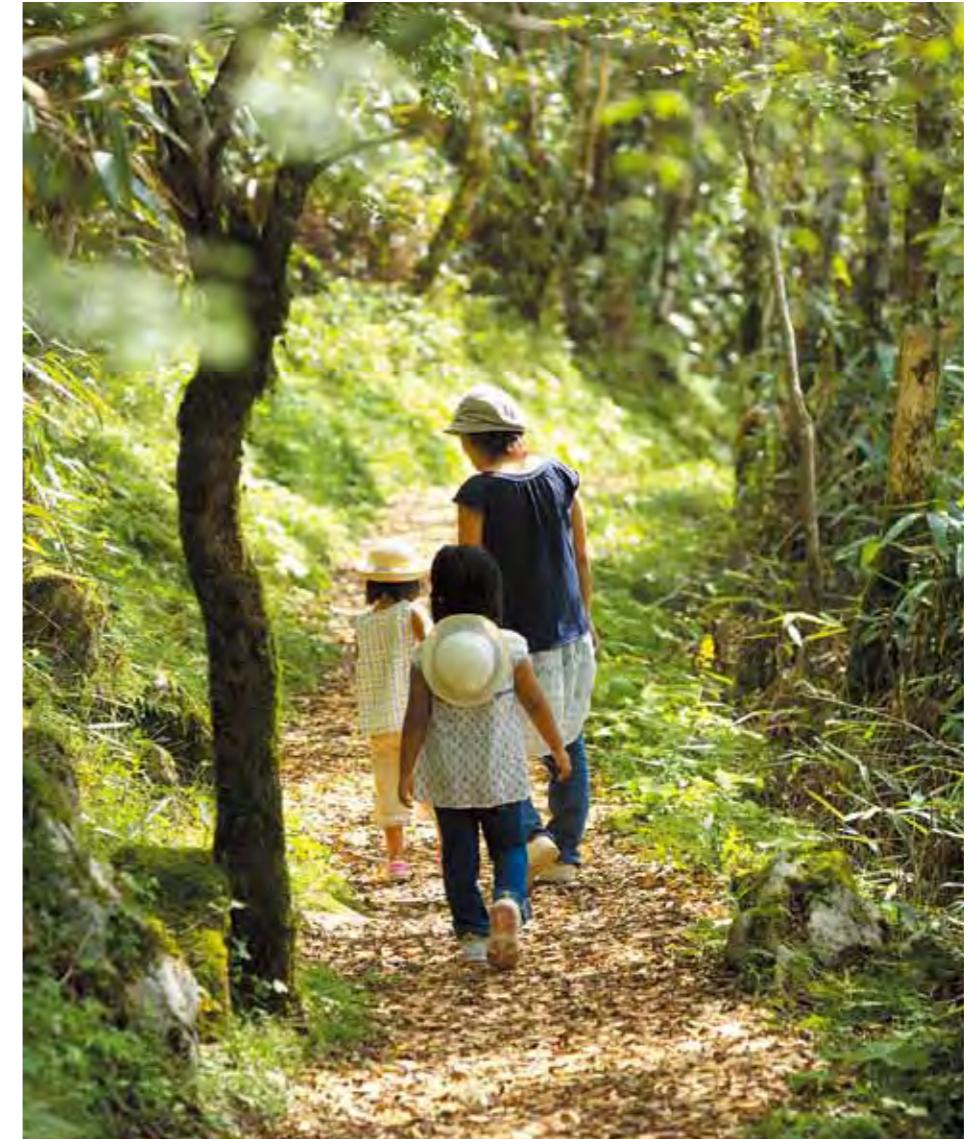
こどもと森と、高知の未来



Siesta in the forest.

緑の中のシエスタ

森にとけこむ、空気にとけこむ、森林セラピーのススメ



森の命や力を感じることによって、心と身体に元気を取り戻す。それが「森林セラピー」。高知県では現在2ヶ所の森が森林セラピード・基地に認定されているが、そのうちの一つが津野町の天狗高原。ただゆっくり歩くだけで人を癒やす森を歩いてみた。
ブナやヒメシャラなど原生林の間に、ゆるゆるとのびている遊歩道。道に足をのせるとふわふわっと不思議な感覚が伝わってくる。道に敷かれているのはたっぷりのヒノキチップで、長く歩いても足が疲れないと云うくなっている。風に揺られて木と木が動いたびに、さわさわと優しい音が鳴り、日の光の形がゆっくり変化していく。そんな雰囲気に包まれると、体が深呼吸をはじめていた。体に入つてくるのは、よどみのない空気と、ほのかなヒノキの香り。歩く、見る、聴く、呼吸する、いつもしている何気ないことも、この場所では贅沢な癒しになつていく。
近くにある天狗荘では、この森を拠点にした滞在型セラピーサーাが始まる。この心地よさのトリコになる人が、どんどん増えていく予感がする。

人と森が仲良くなつて、すてきな未来につながつてゆく。
mamori
ま も り

高知県森林部木の文化推進室
〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号
Tel.088-821-4586 Fax. 088-821-4576
E-Mail. 030401@ken.pref.kochi.lg.jp
<http://www.pref.kochi.jp/>

生き活きこうちの森 ~デジ森ドットコム~
こうちの森や山に関する情報をいち早く知りたいという方に、イベントや体験などの話題を紹介しています。
<http://www.digi-mori.com>

木のある暮らし。



製品は一つひとつ職人による手作り。大量生産はできなくても、手作りに宿るぬくもりを大切に考えられています。



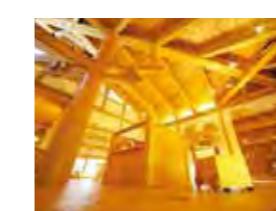
世界中の赤ちゃんに届け、自然な木のかみごこち。

歯が生えはじめの赤ちゃんは、いつでもなんでもカミカミします。そんな赤ちゃんにぜひ使ってほしいのが、桜の木で作られた「歯がため」。作っているのは南国市にある「なかよしライブラリー」です。こちらのおもちゃは、保育士の資格も持つ専門家が仕様やデザインを考え、それを職人さんがちがつひとつ手作業で作っています。多くの素材は県内産の広葉樹を使い、責任者である浜田正志さんは、この「素材」にこだわりを持っています。

「木は人間の身近にあり、とても気持ちのいい素材なんですね。また、おもちゃで木に親しんでいくことは、一つの文化を伝えいくことでもあると考えています」。

この歯がための素材に選ばれた桜の木は、軽くてほどよい硬さもあるのが特徴。赤ちゃんが手にしやすくかみやすいように時間をかけて磨き、なめらかに仕上げられています。また、なめらかに仕上げられています。また、かんでも大丈夫なように、表面のつや出しには100%植物性の油を使っています。もちろんこれが安全なもの。

今後はこの歯がためを世界に向けて出荷されるそうです。高知の桜の木が世界中の赤ちゃんに愛される日も遠くはないさうです。歯が生えはじめの赤ちゃんは、いつでもなんでもカミカミしています。そんな赤ちゃんにぜひ使ってほしいのが、桜の木で作られた「歯がため」。作っているのは南国市にある「なかよしライブラリー」です。



なかよしライブラリー
南国市亀岩1008
088-862-0277
9:00~17:00
無休(盆・正月は休み)
駐車場あり
<http://www.wooden-toy.net>



私たちが納めている「森林環境税」は、高知の子ども達の心育てや、森林環境教育など、様々な力タチで活用されています。子ども達が森や地域と積極的に関わる体験が、人の持つ優しさを養い、感性を豊かにします。それが未来の高知を育むことになるでしょう。子ども達の表情を見て下さい。地域の方の熱意を知つて下さい。そこには大切なものがたくさんありました。



こどもと森と、 高知の未来

先輩が伐った間伐材を、
新しい1年生が受け継いだ。

たとえ国語のように表現されていても、算数のように計算できなくても、山や木と触れ合うことで学べることがたくさんあります。

四万十町にある昭和中学校は、現在学年を超えて森林環境学習に取り組んでいます。その内容は「間伐材を使って、自分の机を作ろう」というもの。スタートした昨年は、卒業した前3年生と現在の23年生達が地元の山で間伐をしました。計画を立てた同中学校の北添先生は当時の様子をこう振り返ります。

「山に囲まれた場所に生まれた子ども達ばかりですが、山の子であっても山に入ることは少ないんですね。山に入るのも初めて、木を伐るのも初めての生徒がほとんどでした。森林組合の方に指導していただきながら、自分たちの手でのござりを持ってヒノキを伐つたんです。我々教師は『生徒達がどんな反応をするのか』と思つていたんですが、なかなか伐れん、倒れん、でもそこに楽しさを見つけているようでした。また本来、伐った木は乾燥させ、機械を使い山から運び出しますが、生徒達は水分をたっぷり含んだ伐りたてのヒノキを自分で力で運びましたから、とても疲れた様子でした。でもこの経験で、木の特性や扱う時の知恵も学べたんではないかなと思います。その後は、地元の四万十高校に通う生徒に現地で講話『山の保水

高知の未来
「山の学習支援事業」

「山の学習支援事業」

高知県では、小・中・高校で「山」をいかす「環境学習」を積極的に取り組んでもらおうと、森林環境税を活用して子どもたちを応援している。



卒業生が間伐し運んでくれたヒノキが使われている。



地元の先輩である集成材工場の職員の方にコツを教えてもらいながら、電動ヤスリで作業する子ども達。この工場では、地元の間伐材を板状にして組み合せ、接着、圧縮、乾燥することで、美しい木肌の集成材を作っている。

授業で山と産業にふれた。

今回は、卒業生が間伐したヒノキで作った集成材をヤスリで磨き天板にしていく作業です。まずは紙ヤスリを持って縁をなめらかにします。作業がスタートして間もないころは、少し磨いては木を触り、また磨いては木を触りと恐る恐る取り組む生徒達。「どの方向に紙ヤスリを動かしたらいいがやおう?」「もっと強くしてもいいが?」と、不安な声もたくさん聞こえてきました。しかし、時間が経つとなめらかに

力について説明してもらいました。講話も良かったのですが、地元の中学校と高校が繋がりを持つたという部分でも良かったと思います」。

この時に間伐したヒノキは今年入学した新1年生の手に渡り、本格的な机作りがスタートしました。学校の技術室では机の脚を制作しています。そして先日、地元の大正町森林組合集成材工場に行きました。めったに入ることのない集成材工場の雰囲気でドキドキしている生徒達。工場にたちこめる木の香り、木を切つたり削つたりする音、そこでカッコ良く働く人々の姿、そのどれもが生徒達にとっては新鮮なものでしあう。

「地元」として林業は大きな産業ですが、生徒達はそれを実感する機会が少ない。実際に集成材工場などへ行くことで実感してほしいし、集成材工場で働いている若者の姿を見て、地元に残るつと思う子ども達が出てくるのではないかなど思っています」。

なついく木の感触が嬉しくなった様子。紙ヤスリの後は、実際に工場で使用されている電動ヤスリを使って表面をなめらかにしていく作業です。初めて使う機械に戸惑っていましたが、工場の方にコツを教えてもらいながら最後まで自分で仕上げていく生徒達。

「磨いたらすごいキレイになるがやね」と変化する木の様子に驚いていました。作業の終盤になると先に終わった生徒達が工場で余っていた木をもらい、また紙ヤスリで磨き始めました。短時間の間でも自分たちの手で木を加工していく面白さや、手をかけるほどに美しくなる木の魅力を感じたのでしょうか。

この昭和中学校の机作りは、これからもまだまだ続いていきます。

「机の脚を完成させて、11月に親子で組み立てを行います。作業はそれで終了になりますが、これから机を使い続けていくことで何かを感じてもらえるのではと思います。この学習で、地元の山のことや林業のことを知った生徒も多いと思いますから。それがどう変化していくのか期待しています。それがどう変化していくのか期待しています。また、来年入学する新1年生の分のヒノキを再び伐りに行きますが、こうしたことなどが先輩から後輩へ想いを託すということが伝統になればと思います。毎年続けていかなければいけません」。

少しずつでも長く木と触れ合い、山や地元の産業との関わりを深めていく子ども達。机が完成する頃に、子ども達の想いがどう変化しているのか楽しみです。

山と森林をしっかりと見つめる
楽しい授業のスタートです。
すぐそばにある山や木と、
そこに関わるすべての人々が「先生」。
子ども達が見つける答えが
素敵な未来を創っていきます。

山へ行こう! 木に触ろう! 自然を学ぼう!



子どもも大人も、飛び出せ自然へ

こどもと森と
高知の未来



キラキラと光る川面を見て「キレイ」と思った。
首が痛くなるほど見上げた大木に「すばいい」と思った。
急に暗くなる冬の夕暮れに「コワイ」と思った。

子どもの頃、自然の中で遊びながらいろいろなことを感じました。

それは正解も間違いもない【勉強】だったのかかもしれません。

自然の楽しさを知っていますか？
自然の怖さを知っていますか？
自然の美しさを知っていますか？

「近くに山や川がない」「外で遊ぶのは危険」「遊び方が分からぬ」…色々な理由で自然から遠ざかってしまう現代の子ども達に、もう一度自然の中で遊んでほしい。自然の中で生きる術を見つけてほしい。そう願いを込めてスタートしたのが【こどもの心育て体験事業】です。

その中の一つ、9月24日に物部川河川で行われた【葦船大作戦】を主催した「うち自然学校」理事長・山崎和孝さんにお話をうかがいました。山崎さんが挑んだこの作戦は、「葦」という植物だけで造った全長7mの船で物部川を進むというものです。

葦船は川の汚れの原因であるリンや窒素を吸収して育つので「水質悪化のバロメーター」とも言われています。この物部川は水質が悪化し、河川敷に葦がうつそうと生い茂ってきました。この葦を刈つてあげることで、次の葦が生えてほんや窒素を吸つてくれるようになります。また葦は密集して生えるので、水の通りの原因である泥を茎や根でからめたり、水の透明度を回復させてくれる効果もあります。物部川を昔の美しい姿に戻すためには、葦は大事な植物なのです。

葦船に必要な葦を刈るのに2日間、制作作業日間。製作を仕上げは参加した親子も一緒に手伝いました。船が壊れないようにロープでくつ縛る作業に四苦八苦しましたが、「せーので引っ張ろう！」と

力合わせて取り組む親子の姿がとても素敵でした。

「これまで何も感じずに見過ごしてきた葦が、立派な船に変わって子ども達も驚きの様子。船の上から「本当に沈まんね！」「うまく操縦できん！」と子ども達の楽しそうな声が響きました。「遊び終わった後の葦船は田畠の肥料になつて土にかえらんやすよ」という話を聞いて、「じゃこまでも利用できる。工芸な素材なんやね」と大人も感心していました。

葦船からたくさんのことを学び、楽しんだ子ども達。この日感じたことが子ども達の未来にどう育んでいくのか、今から楽しみです。

山の先生が やってきた！

今日の授業はいつもと違う。
僕らを導いてくれるのは山の先生。
なにを教えてくれるかは分からないけど
きっと、なにか楽しいことを教えてくれるはず。



さらに堀田さんは、山の一日先生とは
子ども達の様子を見て、満足げに話す
堀田さん。雑草の万華鏡作りには、さらに深い狙いもあるようです。
「本来外で何気なく見ていていた以上
うして万華鏡にすれば、驚くほどキレイ
で面白いものになる。まずは雑草からはじめることが大切んですね。『雑草でもこんなにキレイなら…?』そこから『じゃあ今度は花びらを入れてみよう』今度は虫を入れてみよう」と発想が広がっていく。私が教えた」というのは楽しみ方の導火線なんですよ」



情報交流館ネットワーク
堀田 幸生さん

「山の一日先生派遣事業」

将来を担う子ども達に、森林や山の現状や、自然に関心をもってもらうため、県下の幼稚園、保育所、小・中学校などに「山の一日先生」を派遣して、子どもたちを応援している。

「山の一日先生」を派遣している団体

あきネイチャー Tel. 0887-34-3508

社団法人 高知県山林協会 Tel. 088-822-5331

情報交流館ネットワーク Tel. 0887-52-0087

NPO法人 土佐さめうら観光協会 Tel. 0887-82-1680

津野町 森の拠点づくり運営委員会 Tel. 0889-62-3188

「自然を使った遊びと、自然の深さを教える役目」だと言います。

「例えば、折り紙にある緑色と同じ緑を、自然の中で探してください」と言つてもなかなか見つけることはできません。自然というのはもっと大きくて、複雑で、面白いものなんですね。だから、目をこうして発見しなきゃいけない。万華鏡のたつた1セントの隙間から見る自然を、キレイだなと思つてほしい。これは感動を見つけるための初步の初步を教えているんだと思つています」

「家に帰つて、家族にも見せたいです」「今度は家の周りにある雑草を入れて覗いてみます」と嬉しそうに万華鏡を手にして帰る子ども達。「雑草なんて…」という気持ちは消え、自然に飛び込む遊び心が芽生えているようでした。

「こどもの心育て体験事業」

地域社会の中で子どもたちを心豊かに健やかに育むため、子どもの体験活動に森林環境税から補助される。

紅葉狩りと森のコンサート

渓谷と森に抱きしめられたコンサートにどうぞ。

四万十町大正の中津川渓谷をステージに、紅葉狩りを楽しみながら、森の素晴らしさ、エコ体験をするイベントが行われます。内容は午前中、一般参加者を対象に、久山への森林ガイドツアーや、チェーンソーを使ったヒノキ火鉢づくりの体験コーナーなど。また中津川婦人部による田舎すしやキノコ汁など地元食材もあります。午後からはクラシックギターを中心とした森の中でのコンサートが開催されます。



白髪山原生林の不思議・写真展

ヒノキ原生林の生態の神秘を、3ヵ所の写真展で触れてみよう。

本山町の清流・汗見川沿いを登っていくと白髪山に到着しますが、ここは全国的にも貴重な樹齢約600~400年のヒノキの原生林があります。今回の写真展は、白髪山ヒノキ天然更新生態の歴史が見える八反奈路にある15本を中心に紹介し、白髪山のことを知るきっかけになるのでは。また、本山の地質や汗見川の清流については、「ギャラリー汗見川清流自然館」で見ることができます。

- ギャラリー汗見川清流記念館
(長岡郡本山町瓜生野530)
通年展示だが、事前に連絡が必要
- 高知市中央公園・山の恵みの感謝祭
11月10日(土)・11日(日)
- 四国森林管理局1Fホール
(高知市丸ノ内1-3-30)
11月13日(火)~22日(木)
- すべての問合せ/
汗見川の自然を守る会・山下
Tel. 088-82-0715



Event Newsは風に乗って。

さあ、出かけよう。緑のPlazaへ。

山の恵みの感謝祭

街の人々に知って欲しい、こうち山の日の取り組みを。

高知市中央公園をメイン会場に、森林の大切さを伝えるイベント「山の恵みの感謝祭」が行われます。会場ではチェーンソーアートやクイズラリー、森林体験学習発表会など、多くの催し物があります。また大川村の謝肉祭(大橋通商店街)やおかみさん市(京町・新京町・壱番街商店街)などの協力もあり、商店街も一緒にになって、森林の恵みを考えていきます。



高知市中央公園、商店街など

- 11月10日(土)・11日(日)
- 問合せ/山の恵みの感謝祭事務局
- Tel. 088-885-1120(高知広告センター内)

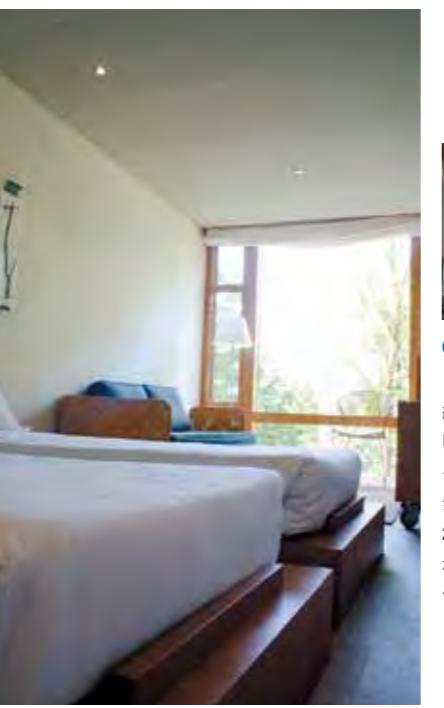
高知の山へ出かけようカレンダー

イベント名	体験内容	実施日	開催場所	施設・団体名	連絡先
久保谷山体感森林教室	森林教室セラピード散策、松原地区民との交流	11月3日(土)	梼原町・松原久保谷山	高知かがみ夢探検センター	Tel. 088-882-0629
森のこと・里のこと・地球のこと 「遊び、学び、考えよう」	森づくり体験、草笛教室、木工・クラフトづくり他	11月3日(土)	香美市・情報交流館	情報交流館ネットワーク	Tel. 0887-52-0087
いっしょに学ぼう、森のこと・里のこと・地球のこと	依光良三さん、長坂優さんの講演会と、豆電球のコンサート	11月4日(日)	香南市野市町JA大ホール	情報交流館ネットワーク	Tel. 0887-52-0087
山は海を守る	炭焼き体験、海水浄化他	11月10日(土)	宿毛市・松田川上流	宿毛市ブルーツーリズム推進協議会	Tel. 0880-62-1131
第4回ふなど四万十川源流ウォーキング	四万十川源流点へのウォーキング	11月11日(日)	津野町・せいらんの里	堂好海「せいらん」	Tel. 0889-62-2434
ふれあい大法寺体験の森で、学ぼう、知ろう、森のこと	森林環境学習、間伐体験他	11月17日(土)	香美市・情報交流館	情報交流館ネットワーク	Tel. 0887-52-0087
本川「木の根三里」の植物ときのこ観察	植物ときのこ観察	11月18日(日)	いの町・木の根ふれあいの森	高知県森林インターラクター会	Tel. 0887-52-0087
「れいほく山の恵み」まるごと体験2007	椎茸栽培体験、地元料理試食、木工体験他	11月下旬	本山町・椎茸ハウス他	本山町企画課	Tel. 0887-76-3915

● 参加するのに予約が必要な場合や参加費が必要な場合がありますので、事前にご確認下さい。また、天候や主催者の都合で実地日時が変更される場合もあります。ご了承願います。

森からの贈り物 【プレゼント】

本誌をご覧になって、いかがでしたか？ ゼビ読者の皆様のご意見・ご感想をお聞かせ下さい。下記のアンケートにお答えいただいた方に、高知の森林の豊かさを伝える素敵なプレゼントをご用意いたしました。皆様からのご応募を、お待ちしています。



①オーベルジュ土佐山 ペア無料宿泊券(1組2名様)

緑に中にある洗練されたホテルとして、県内外の旅行者から絶大な人気を誇っている「オーベルジュ土佐山」のペア無料宿泊券です。(利用期間は平成20年3月から12月迄です。満室の場合が多いので、必ず事前に予約を入れてください)



②エコアス馬路村 「MONACCA」(モナッカ)(2名様)

馬路村のスギの間伐材から作る新しい木のカタチ・「MONACCA」は、世界中の注目を集めるバッグです。職人の技で軽くて丈夫、和テイストでモダンなバッグを2名様にプレゼント！



③なかよしライブラリー 動物バス(2名様)

子どもも大人も嬉しい木のおもちゃ。職人が手づくりで創り上げた秀品です。



④土佐龍 四万十ひのきの 天然入浴剤(10名様)

森林成分フィンチッドを豊富に含んだ木の香りの天然森林浴アロマです。

応募条件は、アンケートの記入です。

下記の専用ハガキ、又は「高知県森林部木の文化推進室」のHP (http://www.pref.kochi.jp/~seisaku/kinobun2/hp_1/) から必要事項をご記入の上、ご応募下さい。

締め切りは平成20年1月20日(日)必着です。抽選の結果につきましては、当選者の方のみ郵送又はE-mailでお知らせします。また、次号でイニシャルでの発表をいたします。なお当落につきましての電話確認等はご遠慮願います。

個人情報は厳守します。

ご応募頂いた皆様の個人情報は、プレゼント提供会社、高知県木の文化推進室、「季刊高知」編集部が、抽選のために情報を共有いたしますことを御了承下さい。今回の応募に関しての個人情報は適切に保管し、第三者への提供・開示などは一切行いません。

アンケートにご協力下さい。

高知県の「森林環境税」を知っていましたか。

- 1、内容なども良く知っている
- 2、名前は知っているが内容はあまり知らない
- 3、知らない
- 4、その他()

本誌の内容はいかがでしたでしょうか。

- 1、面白かった
- 2、普通
- 3、面白くなかった
- 理由()

今回の誌面で興味を持ったページはありますか。(複数可)

- 1、特集
- 2、木のある暮らし
- 3、緑の遊び場
- 4、家族で楽しめる高知・山の施設
- 5、読者プレゼント
- 6、イベント情報
- 7、緑のシエスタ
- 8、別のことを取り上げてほしい(例えば))

本誌を読んで森林環境税の理解が深まりましたか。

- 1、良く理解できた
- 2、少しは理解できた
- 3、よくわからない
- 4、その他()

本誌をどちらで入手しましたか。

- 1、学校、幼・保育所などの教育機関
- 2、観光施設や道の駅、直販所など
- 3、図書館や郵便局、銀行、病院など公共施設
- 4、スーパー・飲食店、美容院など
- 5、その他()

高知県が行っている森林環境税や本誌について、ご感想をお願いします。